

美祢市立図書館複合化基本計画(案) 一概要版一

令和6年3月 美祢市教育委員会

第1章 複合化基本計画策定の目的と位置付け

本市教育委員会では、これからの図書館のあり方及び方向性を検討するために「美祢市立図書館あり方検討委員会」を設置し、令和3年11月に「美祢市立図書館基本構想」、令和4年11月に「美祢市立図書館基本計画」（以下「図書館基本計画」という。）をとりまとめました。

本計画は「図書館基本計画」の方向性を踏まえ、美祢図書館を中心とする複合施設の整備に向けて施設全体の整備方針を検討するとともに、図書館を含む各機能のサービス計画と、それを実現する運営体制や整備スケジュールを含めて策定することを目的とします。

第2章 これまでの検討経緯及び前提条件の整理

「図書館基本計画」では基本理念（右図参照）や市民ニーズに基づき、中央図書館の具体的な機能やサービス、空間を示すとともに面積を約1,600㎡と想定し、一体的な整備を検討する「子育て・学びの活動」「健康づくり」「地域情報発信」の3つの機能を示しました。

また、その他の関連する本市の計画では、公共施設の老朽化への対応とともに施設総量の適性化や施設の複合化・共用化を重視しており、さらに美祢図書館が立地する中心市街地全体の活性化を目指しています。



第3章 一体的整備候補施設及び関連施設の現状把握

中央図書館との一体的整備を検討する勤労青少年ホーム、公設塾mineto、保健センター等では、設備の老朽化により一部の部屋が使用できない、用途に対応した部屋がない、部屋の定員に対して使用人数が少ない、施設の利用者や事業への参加者が限られている等の問題があります。

一体的整備候補施設及び関連施設の状況

機能	関連施設	施設・サービス	利用状況
子育て・学びの活動関連施設	勤労青少年ホーム	・ホーム主催事業と貸室事業がある	・利用者が限られる ・使用していない部屋がある ・音楽室は1~2名の個人練習に使われている
	子育て広場・サロン	・それぞれ毎週1回開催している	・1回あたりの親子の平均参加者数は子育て広場5.1人、子育てサロン7.6人となっている（令和4年度）
	ファミリーサポートセンターみね	・依頼会員と協力会員をつなぐ活動をしている	・活動回数は年間50回（令和4年度）
	サンワーク美祢コワーキングスペース	・勉強や仕事に利用できる19席の有料貸席がある	・高校生以下の利用が多い傾向がある
	公設塾mineto	・市内中学生を対象としている ・旧消防庁舎の空室で開講している ・地域の課題解決等のテーマ授業と個別授業がある	・登録生徒数は40名となっている（令和4年度）

機能	関連施設	施設・サービス	利用状況
健康づくり関連施設	保健センター	・幼児健診、育児相談、育児学級、成人健診、健康相談等を実施している	・健診は3～4室を同時に使う ・一部の部屋は別用途で使用している
地域情報発信関連施設	博物館等施設	・歴史民俗資料館、化石館、秋吉台科学博物館、長登銅山文化交流館がある	・秋吉台ジオパーク等の情報を発信している

第4章 利用団体等へのアンケート・ヒアリング調査結果

1) 勤労青少年ホーム利用団体等

既存施設は予約が取り易く、利用料が安い等の利点がある一方、軽運動場に冷暖房がない、洋式トイレが少ない等の欠点があげられています。

新施設については、既存施設と同じ用途の部屋の要望があるとともに、収納スペースの設置やICTを活用したサービスの展開等の要望がありました。

新施設に必要な施設・備品、サービス等

項目	内容
施設・備品	- 音楽ができる防音の部屋 - 軽運動場と同じ広さの部屋 - 作品を展示できるコーナー - 施錠できるロッカー
サービス	- スマートフォンから貸室予約ができる - フリーWiFiを使える

2) 関係課

一体的整備候補施設を管轄する複数の関係課から、新施設の複合化によって利用者の利便性が増し、図書館の本を使った様々な取組みが可能となる結果、幅広い世代で利用者を増やすことができるとの期待がありました。また、新施設で必要な部屋について、会議室、軽運動場、音楽室、靴を脱いで上がれる部屋、栄養指導室（調理室）、相談や面談に利用できるスペース等の要望がありました。

複合化や機能融合の期待

関係課	期待すること	必要な施設・備品
勤労青少年ホーム	- 幅広い世代で利用者を増やせる	- 50名以上入れる会議室 - 冷暖房のある軽運動場 - 防音設備のある音楽室
子育て広場・サロン、ファミリーサポートセンターみね	- 図書館の本を使った読み聞かせやブックスタートを開催する - 子育て広場の開催頻度を増やす可能性がある - 施設内で子どもの一時預かりができる とよい	- 親子10組と職員5名程度が靴を脱いで上がれるスペース - 子育て相談に使えるスペース
保健センター	- 複合化によって利用者の利便性は増す - 乳幼児健診での絵本の読み聞かせ等のイベントが開催できる	- 靴を脱いで上がれるスペースと栄養指導室（調理室） - 相談や面談に使えるスペース - 健診機器等の倉庫
公設塾 mineto	- 図書館資料を授業で活用できる - 取組みが人目に触れる機会が持てる - 高校生を対象とした塾を開講する可能性がある	- グループ学習と個別学習のそれぞれに使えるスペース - 相談や面談に使えるスペース - スタッフが常駐できるスペース
博物館等施設	- 展示内容に関連した図書館の資料展示によって相乗効果が期待できる - デジタルと現物展示を併用する - 市内の子どもに向けて情報発信する - 子どもの夏休みの宿題サポート等のイベントを開催する	- あまり広くないスペース - 大型ディスプレイの設置



第5章 施設整備計画

1) 複合施設の整備理念と整備方針

整備理念は1ページで示した「図書館基本計画」における中央図書館の基本理念を引き継ぎ、整備の具体的な方向性を示すものとして次のような整備方針を定めます。

整備方針1 中央図書館を核とする学びや子育ての拠点施設として整備

中央図書館を核として、健康づくり機能、子育て・学びの活動関連機能、地域情報発信機能を1つの施設に集約し、機能間が有機的に連携する施設とします。

-  **本市の歴史や地域の特性を活かして暮らしやまちを豊かに彩ります**
-  **未来を担う子どもたちの成長や学びを支えます**

整備方針2 あらゆる世代の居場所となり、多彩な交流やまちの賑わいを生む施設として整備

来館者がそれぞれの時間を過ごせる居心地のよい空間とするとともに、来館者同士の出会いにつながる環境を充実させます。さらに、屋外も活用して中心市街地の回遊性に資するようにします。

整備方針3 持続可能な公共施設運営を可能とする施設として整備

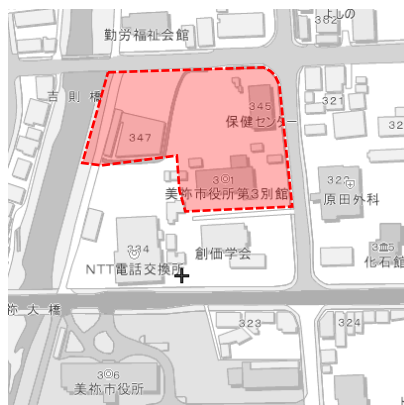
周辺施設との機能分担に配慮するとともに、一体的整備予定の既存施設は現施設よりも延床面積を抑えられるようにします。

2) 建設予定地と周辺の状況

JR美祢駅に近く、市役所等の公共施設が集積しており、厚狭川沿いにある旧丸和跡地、吉則駐車場、農林課建物跡地、保健センターの敷地を建設予定地とします。

建設予定地の状況

項目	内容
地番	山口県美祢市大嶺町東分 341-3 他
地域地区	商業地域／準防火地域
面積	7,636.57 m ²



3) 施設規模

基本的な考え方：

中央図書館の面積は令和6年3月の人口を基に約1,500 m²とし、読書や学び、暮らしのサポート、子どもの学びや育ち、地域理解の促進等に必要の諸室を確保します。集会やグループワーク等に使う諸室は、同じ部屋を複数機能で使用するにより全体の面積を抑制します。

機能別の考え方：

中央図書館に公設塾 mineto でも使える学習室やフリースペース、乳幼児向けのえほん・おもちゃコーナーを設けます。子育て・学びの活動機能は多目的ホールやスタジオ等、健康づくり機能は相談室と調理室、地域情報発信機能は展示スペース等を設けます。

※ 面積については、今後の協議及び設計段階で変更の可能性がります。

新施設の諸室構成（案）

機能	主なスペース	面積
中央図書館	一般書（約4万冊）開架スペース等	520
	児童書（約1.3万冊）開架スペース等	285
	学習室・グループ学習室	145
	フリースペース	95
	会議室	125
	郷土資料コーナー（約1,500冊）他	60
	閉架書庫（約5.5万冊）	190
	小計	1,420
子育て・学び	多目的ホール	230
	スタジオ	50
	和室	30
	倉庫	90
	小計	400
健康づくり	相談室／調理室／倉庫	100
地域情報発信	ギャラリー、作品収納庫等	175
カフェ	厨房のみ	20
管理		90
共用部		660
合計		2,865

第6章 運営計画

1) 施設全体のサービス計画

来館者が興味の範囲を広げ、思わぬ出会いや体験ができるよう、複合施設内の機能を融合したサービスや、複合施設と隣接する緑地と一体となり、屋内と屋外のすべてを活用したサービスを展開することを検討します。

2) 各機能のサービス計画

中央図書館機能

日常生活に役立つ情報を提供するレファレンスサービスや講座の開催、さらに市内の公民館、幼稚園・保育園等への配本を検討します。装丁も含めたモノとして本の魅力を発信するため、テーマ別配架を工夫するとともに、屋外でのブックフェスティバルや他の機能と連携したイベントを開催し、「本のある暮らし」を提案します。さらに、所蔵している郷土資料をインターネットで検索できるようにすることや、地元出身の文化人の作品展示コーナー等の設置を検討します。

子育て・学びの活動機能

市民への貸室サービスを実施しつつ、市民のクラブ活動の立ち上げを支援し、さらに市民の作品発表の機会をつくります。また、公設塾 mineto と連携した取組みや、図書館の「おはなしの部屋」を活用した子育て支援活動を展開します。

保健・健康づくり機能

妊娠中から出産後まで切れ目のない健診・支援、さらに青年・壮年・高齢者の健診、がん検診、健康教育、健康相談等を実施します。加えて、認知症の正しい知識の普及を行います。

地域情報発信機能

大画面ディスプレイと現物展示で博物館情報を発信するとともに、子ども向けのイベントを開催します。また、地元出身の文化人の作品を、ギャラリーやロビーに展示して鑑賞できるようにします。

3) 運営体制

複合施設の開館時間・開館日については現状を踏まえる他、サービス展開のしやすさや利用者の利便性にも配慮し検討します。運営手法は事業の継続性やノウハウの蓄積のため、現状を踏襲するとともに、施設全体のコーディネーターを置くことを検討します。